

# 教育民生 常任委員会

## 不法投棄

Q 今回電気製品など処理する内容は。  
 A 富長地区河川の不法投棄物の撤去運搬と、末吉平田海岸周辺の流木類の回収を行う。

住民生活課

## 大山寺阿弥陀堂

Q 国による大規模改修事業の内容は。  
 A 老朽化した屋根や回廊部分の腐食などで修理が必要となった。総事業費約1億6千万円。町負担は5%、受益者負担5%である。



改修する阿弥陀堂

人権・社会教育課

## 高校生力士の胸を借りて



名和小相撲大会

委員会では、健康づくり運動の推進体制や、国保会計、診療所会計などの決算内容を中心に審議した。9月16日に名和小の相撲大会を視察。

相撲好きの高齢者に審判をお願いするなど、地域一体の行事となっている。本年は鳥取城北高校の相撲部を招いて、例年以上に盛り上がった。

## 予防接種

Q 追加される予防接種の内容は。  
 A 予防接種法施行令の一部改正により、B型肝炎が定期予防接種に追加された。10月1日より施行される。

健康対策課

## 学校給食

Q 食材の県内産の割合は。  
 A 県内産の食材を年々積極的に取り入れてきた。地産地消と食育に寄与していく。平成27年度は、中山75%、名和80%、大山82%となっている。

幼児・学校教育課

## 健康づくり

Q 待ったなし健康づくり推進のために、今後何が必要か。  
 A 集落やイベントに積極的に出かけていけるよう、保健師などの増員を含めた体制強化も検討していきたい。

健康対策課

### 議会改革調査特別委員会 中間報告

# 定数・報酬は現状維持

1月27日以来、開催した7回の特別委員会に加え、「議員と語る会」議員討論会」での議論をふまえ、平成29年4月の一般選挙を前に、中間報告書を以下の内容で議長に提出した。

**議員定数は、現状維持の16人とする**

#### 理由

- ・人数が減ると住民の声が届きにくい
- ・合議制である議会ではより多くの意見がでる

**議員報酬は、現状の22万1000円とする**

#### 理由

- ・県内町村の動向に合わせる
- ・町民感情を考慮した

#### 今後の協議課題

- ・議会、議員のあるべき姿
  - ・行政事務事業評価
  - ・費用弁償
  - ・常任委員会の構成と定数
  - ・タブレット導入
  - ・若年者の立候補促進策
  - ・議員討論会
- 議会では、住民に顔を向け親しみある議会運営をめざし、研修会を実施し、議論を重ねていく。



語る会で意見をもらう

### 健康・医療・介護と財政に関する調査特別委員会

# どうなる人間ドック 受診者激減

健康・医療・介護と財政に関する調査特別委員会を、昨年4月に設置した。町民の医療費、介護費が増え続けるなか、財政状況を考慮しながら、町民の健康を守るために必要な政策提言をめざし、調査研究している。

9月26日、今年度から実施方法が変更になった国保の人間ドック事業の状況について、健康対策課長から聞き取りをした。

国保加入者への人間ドック助成は、5年に1回となった。今年度の対象者数は869人で、当初約6割の受診を見込んでいたが、8月末までの申し込みは約3割の275人(受診済みは、86人)に留まっている。

健康対策課では、電話での受診勧奨で、申し込み増をはかる考え。昨年度から「まったなし健康づくり」事業を進め、人間ドックなど健診の受診率向上をめざしている。

#### 人間ドック(国保)実績

年度	対象者	受診者数
H25	原則、希望者全員	858人
H26	予算の範囲内	665人
H27	H26に予算の都合で受診できなかった人のみ対象	234人
H28	40歳から74歳まで5歳きざみ	86人 (H28.8末現在)